

# 区民と区長のタウンミーティング（2022年9月11日開催）

## テーマ：文化・芸術の振興

### ●主な意見一覧

子どもたちの文化振興
子どもたちがお笑いと触れ合う機会があるといい。例えば、児童館で日曜の午後にライブを開催すれば、子どもの文化・芸術の心の育みができるのではないかな。
中野には多くのお笑い芸人さんが住んでいるといわれている。そういったプロとの出会いを通して、子どもたちが成長し、文化芸術の心を育むことができるのではないかな。
地域における芸術振興
演奏などを発表できる場が増えてほしい。体育館のほか、区民活動センターも制約なく活用できれば、地域への展開もしやすいと思う。
中野区には素晴らしい演奏家や演者がたくさん住んでいる。例えば「芸術家バンク」を創設して、町会長へ情報を提供する制度があるといい。
中野サンプラザには、スタインウェイやヤマハなど価値の高いピアノが置いてあるので、区役所で引き取り、それを各施設で活用すると良い。
小中学校でブラスバンドや吹奏楽ができる楽器や環境は整っている。モデル校を選定し、そこにオーケストラができるような環境が整備できると、更に面白いのではないかな。
子どものうちからクラシック等の音楽に興味を持ってもらい、慣れ親しんでもらう環境を整備してほしい。
文化・芸術振興に係る全般
廃校を活用してフリースクールや、学校と連携しながらプロの職業を体験、学習できる「キッズニア」のような施設があると良い。
音楽や文化活動の発表ができる区内の各施設を紹介するページが区のホームページにあるといい。
子どもたちが気軽に音楽や文化活動の発表ができる機会がないのが課題だと思う。
一人親家庭に対し、文化芸術を身近に感じてもらう機会をもっと増やすべきではないかな。
中野区が文化芸術大使を創設・任命し、インフルエンサーになってもらう取組みも有効であると思う。